

茶席のイス

概略

- ・ 茶席に使用するイスの製作依頼
- ・ 丸椅子でもよいとのことだが、畳タイプがイメージし易かったのが必然的に角型となる。
- ・ 初めてのミニ畳作りなので、簡単に製作できそうなタッカーでの組立とした。

寸法 425 横×300 縦×410 高

材料 柾&い草畳表（芯材：ランバーコアシナ合板）

塗装 ポアステイン（黒）着色 3回

フレッシュアクアウレタン（艶有）2回

材料費 2台にて約 3,700 円（合板&塗料含まず）

完成：2013年10月



↑ 練習用に作ってみたミニ畳

床厚 20 ミリ、縁の幅 30 ミリとしてテストしたが、

- ・ 床材の厚さがもう少し欲しいかな。
- ・ 本物の畳床材の一部を利用してのタッカー留めは、スコスコで不安。（発泡材に打っている感じ）



↑ 本番のミニ畳 完成

80mm 幅の縁材では、30mm 厚の床材までが組立限度と判明。裏には 5mm しか廻っていないが、底材をシナ合板にしてあるのでタッカーで十分固定できます。

合板にステーブル留めなので、針の抜ける心配は全くなさそうです。



↑ 完成

和室での使用となりそうなので、4本足には横木を渡して和室に優しくしてあります。

- ・ 脚材は 30□材なので、30mm 厚の畳はいいバランスです。
- ・ 手前に畳の厚さを見せるかどうか迷ったが、やはり見えた方が正解だったようです。（見せなければ、もっと薄い畳で OK なのが・・・）

メモ

- ・ 知人に頼まれて作った茶席のイス 2 脚
- ・ 初めてのミニ畳作りだったが、材料（い草畳表、床材、縁、縁紙）は、プロの畳屋さんに分けてもらいました。
- ・ 座った時の感触の為に、本物の畳床から取り出したクッション材（10mm か 15mm 厚が利用できる）を、床材の一番上にしたかったが、手持ちのタッカー（針長さ 8mm）でテストしてみると、打ち込み感が柔らかすぎるので、クッション材の両面にシナ合板をサンドイッチして床材（合計厚さ；30mm）とした。
- ・ い草の香る畳は、なんか風情があって座り心地も Good です。そのうち子供たちからもリクエストがくるかも？